

日経MJ 2018年7月8日付

米中貿易摩擦の影響

米中の貿易摩擦が世界経済全体を揺るがしかねない大きなリスクとして急浮上している。中国の行為を技術の theft (盗難) と激しい言葉を使ってまで避難する姿勢は、トランプ政権がもはや中国の通商・産業政策を容認しない姿勢を明確にしている。将来の覇権を争って全面対決の様相を示している米中の先端産業での衝突が、こうした米国の強行さの背後にある。中国も簡単に引き下がる姿勢は見せないだろう。



伊藤元重の

エコノオッチ

いる。先に止まった方がこのゲームの敗者である。弱い方(チキン)が先に車を止めることになるが、一つ間違えると両者とも海に突っ込むことになりかねない。このチキンゲームではどちらが先に止まるのかが注目される。

米国が要求するような投資規制の解除や知財政策の正常化、そしてさらなる市場開放をすることが、中国経済にとっても最終的には得なように見える。ただ、国内政治への影響も含めてメンツを重んじざるを得ない中国が簡単に妥協するとは思えない。結局、このチ

政治が経済冷やす危機

キンゲームはすぐには終わらない、と懸念される。

世界経済には様々な影響が及ぶ。貿易に関して言えば、グローバル化の進展で中間財や資本財などの貿易が拡大している。中国で生産される製品の中には日本の部品が多く入っている。中国の工場では日本製のロボットや製造機械が多く使われている。中国から米国への輸出の中には膨大な規模の日本製品が隠されているのだ。

この20年ほどの間、日本の輸出の中に占める中間財や資本財の比率は上昇を続けている。中国の経済発展に伴って、日本も国境を超えた分業の仕組みの中に組み込まれている。米中で本格的な貿易戦争が起きれば、日本の製造業が受ける影響は相当な大きさになるだろう。

米中貿易戦争の影響としてもう一点気になるのは、中国のマクロ経済動向である。数年前、チャイナリスク、チャイナショックといふことが盛んに言われた。それを反映して、それまで長期的に上昇トレンドにあった人民元の急落が始まった。世界は中国発の世界的な経済危機が起きるのではないかと身構えた。中国政府による管理的な政策によってこのリスクは封じ込められたかに見えた。

しかし、中国の民間企業や地方政府などが膨大な債務を抱えていること、それが銀行の融資と関連していることなど、チャイナリスクの根源は何ら改善されていない。米中の貿易摩擦や中国経済の停滞を反映してか、ここに至って人民元の下落が始まった。貿易摩擦の過熱化によって、封じ込められていたチャイナリスクが前面に出てこないことを願っている。

小泉元総理の靖国参拜で日中関係が厳しかった時、中国側はよく政治経済熱という表現を使った。政治は冷たいが、経済関係は熱い。

今の米中関係では、政治が経済を冷やすことになりそう。